



異国での挑戦

関東甲信越保温保冷工業協会

相澤 貴之

ナイガイ(株)

ナイガイでは今から約8年前より外国人実習生の受け入れを開始しました。

その一期生2名が昨年、熱絶縁施工一級技能検定に挑戦し、見事合格することが出来ました。その挑戦は実技検定5か月前より始まりました。

普段は保温工として現場で作業する2人でしたが、見たことのない材料での施工、ラッキング材の加工に、何をどうしたらしいのかわからないところからスタートしました。毎週日曜日、朝から夕方まで練習をしました。毎回指導していただいた親方には本当に感謝しております。徐々に試験課題に慣れ、スピードも上がり、手ごたえを感じるようになりました。実技検定実施後、「上手に出来た」と言った時の二人の笑顔は忘れません。

次に、筆記試験がありました。これが最大の難関でした。普段、難しい文章はスマホの翻訳アプリで読んでいた二人にとって、専門用語の並ぶ筆記試験はまさに古文書を解読するような状況だったと思います。

毎日仕事終わりの帰宅後に筆記試験猛特訓が始まりました。過去問題の点数は20点ほどで合格は程遠い

と思ってしましたが、二人は懸命に勉強しました。

筆記試験後、今度は「ヤバいかも・・。」と笑顔の無い報告でした。人事を尽くして天命を待つ、そういう状況で結果を待つ日々。合格発表の日にホームページで合格の知らせを受けた時、二人は本当に喜んでいました。異国に単身やってきて、異国の国家試験に合格した二人の挑戦に感動しました。自分がベトナムで同じことはできないな・・と。

合格祝いの祝宴はとても盛り上りました。

ベトナムでは何事にも乾杯する文化があります。

「合格おめでとう！」乾杯！（ゼー！という掛け声）

「あきらめないでよかった！」乾杯！

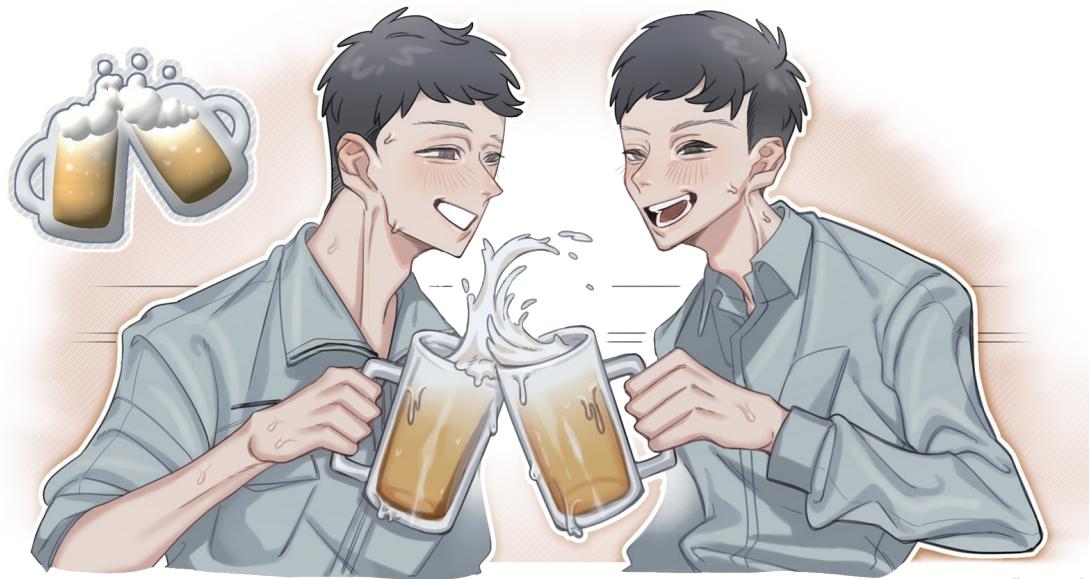
「俺は落ちたと思っていた！」乾杯！

「ドキドキした自分に！」乾杯！

祝宴でジョッキを何度も交わしたか、数えられないくらい乾杯しました。その後、二人は職長教育資格を取り、職長としてナイガイの現場で頑張ってくれています。

二人の更なる躍進を願います。

支えてくださった皆様、本当にありがとうございました。



illustrated by
社長令嬢